

2018年度 経済学部海外プログラム 参加者アンケート

プログラム：英国で学ぶ英語と日系団体・企業のビジネス

2018年度参加者数：12名

＜内訳＞ 経済学科国際専攻 2回生…3名
経済学科経済専攻 1回生…2名、2回生…7名
男性 8名、女性 4名

- ※ 複数回答可の項目有り
- ※ 回答漏れ有り
- ※ < >内の数字は回答数

1. 応募まで

- 1) 募集説明会に参加しましたか はい <9> いいえ <0>
- 2) 本プログラムへの応募動機は何ですか（複数回答可）
- | | | |
|----------|-------------|-------------|
| 派遣国 <7> | 学習言語 <4> | プログラム内容 <9> |
| 参加費用 <6> | 実施時期・期間 <3> | 体験談・口コミ <0> |
| その他 <0> | | |

2. 事前学習

1) 事前に学習しておいて役立ったこと

- ・ 英単語や発音
- ・ 自分の担当する企業について
- ・ イギリスの EU 離脱問題
- ・ 派遣国の経済や社会問題（今回は特に BREXIT について）
- ・ イギリスでは日常会話でどのような英語が話されているかについて（ホームステイなど）
- ・ 語学学校の状況と現地の情報をある程度教えてもらっていたので助かった

2) 事前に学習しておけばよかったと思うこと

- ・ アメリカ英語との単語や発音の違い
- ・ 企業研修の準備
- ・ 訪問先企業に関する専門用語など
- ・ 自分の担当以外の企業について
- ・ 日常会話における言いまわしなど
- ・ 現地での地下鉄の乗り方
- ・ 見学に行きたい所についてもっと調べるべきだった

3. 現地での講義

1) 英語の授業について

①授業のレベル

難しすぎた <0> 少し難しかった <1> 適当 <4> 少し易しかった <2> 易しすぎた <2>

②クラスの規模

人数：10人 <2> 13人 <1> 15人 <6>

→ 多い <3>、適当 <6>、少ない <0>

内訳（国籍、人数）：

（サウジアラビア、カザフスタン、トルコ、ロシア、イタリア、ドイツ、韓国、日本）

③講義内容、使用教材、テストについて

- ・ 時制や会話表現、学問的表現の違いなど
- ・ プリント
- ・ 文法は簡単なものだった
- ・ 講義内容は簡単なものからやや複雑なものまであった。教材は難易度が適切なものでテキストは毎日配布されるプリントだった。
- ・ 授業はその日に習った文法をもとにペアで会話するのがメインだった。教材はプリントで、テストは金曜日にあったが、ペアで答え合わせをするような簡単なものだった。
- ・ 講義内容は日本でやるものとあまり変わらなかったが、Speaking 重視の傾向があった
- ・ 軽いディスカッション、教科書（プリント）に沿ったリスニング、文法問題、ペアワークなど。テストはなかった。
- ・ 比較的文法は簡単だった。毎回宿題も出された。

④担当教員について

- ・ アイスランド人の先生で発音が独特だった
- ・ 質問したらすぐに解説してくれとても良い先生だった。課題でみんなが苦手な分野があった場合、授業に取り入れてくれた。
- ・ 雑談から授業を展開していくのが面白かった
- ・ 先生はすごく優しく話しやすかった。スピーキングで何かミスをした時訂正してくれた。
- ・ 質問しやすい雰囲気でも良かった。また、1人の先生は何度か英作文を宿題に出し、提出した翌日には添削して返して下さったので有難かった。
- ・ 日本語は基本通じないが、自分の伝えたいことなどをうまく汲み取ってくれたので良かった
- ・ 生徒にしっかり気を配り、全員が発言できるように授業を進めていたのでとてもやり易かった。
- ・ 実際に日常で使用する細かいニュアンスや、使い方の違いを合間合間に紹介してくれたので、とても参考になった。

⑤その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ 自分のクラスにいる外国人は文法もめちゃくちゃだったので、上のクラスでもそんなに正しく話せている人は少なかったので、どんどん上のクラスを希望した方が良いと思う。
- ・ 講義について何の心配もない。大事なのは楽しむことと問題があればすぐに相談すること。
- ・ 英語を公用語とする国に行くので、日本人以外の外国人と積極的に英語で話して欲しい
- ・ 私は自分のクラスメイトと先生が好きだったのでクラスのレベルを上げなかったが、英語力をもっと伸ばしたいという方は是非クラスのレベルを上げてチャレンジすることをオススメする。
- ・ 積極的に行動することが現地での講義で大切になってくるので頑張ってください！

4. フィールドトリップ

1) 印象に残った訪問先、その理由

- ・ 訪問先すべて印象的だった。普通の大学生活では決して出会えないだろう人物から、自分ひとりでは得られない様々な情報や歴史、考え方などを聞くことができたので、とても良い経験になった。
- ・ NTT ヨーロッパ
【取締役の方からお話を聞く機会がありとても印象的だった。私が質問した内容に対してプラスアルファの情報とアドバイスをしてくれたのでとても参考になった。】
【自分の企業だけでなく、業界ごとに紹介してくれた】
- ・ 欧州三菱商事

【研修内容が英語で大きな企業だったため】

【全部のプレゼンテーションは英語で行われたが、理解しやすいようにできるだけ簡単な単語を使って説明してくれた。企業の文化と魅力を感じられるプレゼンテーションだった。】

【質疑応答を通して会社の方向性や社員の雰囲気を知ることができたから。説明にもコンパクトさがあって面白かった。】

・ 在英日本大使館

【イギリスと日本を様々な視点から比較して話が進められ、分かりやすかったし、話して下さった方が一番輝いて見えたから】

・ 野村総合研究所

・ 【事業内容をワークショップで学んだことがとても面白かったため】

・ 【コンサルの考えを分かりやすく教えてくれたため】

・ (企業・団体ではないが) セントジョーンズパーク

【広くて動物もたくさんいた】

2) 興味が持てなかった訪問先、その理由

・ 特になかった

3) 感想、次年度参加者へのアドバイス等

・ 企業・団体を訪問して質問する際は、周りの質問に流されずに自分が本当に聞きたいことだけでも質問する方が良いと思う。時間は限られているし思ったより早く過ぎてしまうので、有意義な話を聞けるように工夫した方が良いと思った。

・ 積極的に質問すべき

・ 2週目に企業訪問することで今までに感じた事もアウトプットできた

・ 企業訪問は普段の勉強で学べないことを学ぶ機会なので、何より大切なことは遠慮なく質問すること

・ 企業訪問の前にイギリス経済について知っていたら、話を聞く上でイメージが湧きやすくなると思う

・ どの企業・団体もなかなか関わるできない方々なので、渡航前に聞きたいことなどリストアップしておくと思う

・ こんな機会は今後なかなかないと思うので、少なくとも何か収穫を得ようというつもりで行った方が良いと思う

・ 企業訪問は行く前のある程度調べて行った方がより内容がわかると思う

・ ツアーに参加する場合は、あらかじめ予約しておくと思う

5. 現地の環境

1) キャンパスについて

①教室、その他の設備

・ 思ったよりも充実していた

・ 綺麗だった

・ 売店もあり綺麗だった

・ 教室は狭く空気の通りも悪かったが、ロビーとサポートは素晴らしかった

・ 少し狭くも感じたが、先生との距離も近く良かったと思う

・ 教室はとても綺麗で、小さな売店やソファ、ウォーターサーバーなどが設置してあり非常に過ごしやすかった

②その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ 売店は意外と高いので、間食や飲み物は近くのスーパーで買う方が安いと思う
- ・ 不安になったら現地の日本人スタッフに聞きましょう
- ・ 思ったより綺麗
- ・ 心配する必要はないと思う
- ・ 授業には積極的に参加すること！

2) ホームステイについて

①食事

- ・ イタリア人夫妻の影響で毎食美味しいイタリアンを食べることができた
- ・ 毎朝・毎晩ホストマザーが手作りの料理を作ってくれてとても美味しかった。イギリスでの「パンケーキを食べる日」にはパンケーキも作ってくれて食文化も少し体験できた。
- ・ 想像していたよりも良かった
- ・ 自分のホームステイは健康への意識が高かった為、野菜と魚か肉のどちらかが基本だった。味は少し薄いけど問題なかった。
- ・ 夕飯は美味しかった。自分のことを思って米を準備してくれ毎日新鮮なサラダと果物が出た。苦手なものがある場合は相談すれば何とかなる。朝ごはんだけは、毎日同じオートミールだった。
- ・ 思っていたよりは美味しかった。量が多くて食べきれない日もあった。もう少しジャガイモ以外の野菜も食べたかった。
- ・ 気遣いでお米を使った料理を頂けたのはよかった
- ・ 日本では食べないような色んな国の料理を出して頂き、また味も多少薄いとは思ったが総合的には非常に満足した

②自分の部屋

- ・ シャワールーム付きで何一つ不自由なかった
- ・ 部屋はとても可愛く快適だった
- ・ 広くて快適だった
- ・ ベッド、デスク、クローゼットがある一般的な部屋で清潔感があった
- ・ 毎日綺麗に掃除してもらっていた
- ・ 綺麗な部屋で暖かったが部屋に鍵がなかった。元々の鍵のところが穴になっていて外から見えるので、少しプライバシーについて気になった。
- ・ ベッドとテレビ、勉強机があった。広くはなかったが特に困ったことはなかった。
- ・ インターネットも使えたので快適だった
- ・ ベッド、テレビ、シャワールームや暖房と、設備が揃っていたのでとても快適だった

③共有の設備（キッチン、バスルーム、ランドリー等）

- ・ 綺麗に整頓されていて使いやすかった
- ・ キッチンが広くて使いやすかった。バスルームはやはりシャワーだけなので少し寒かった。
- ・ ハウスルールが少しあり慣れるのに時間がかかった
- ・ 綺麗で何も問題はなかった
- ・ バスルームは自分専用だったので使いやすかった
- ・ キッチンが少し汚かったが食事でお腹を壊したことはなかった。バスルームも使用者が多いので汚い時があった。
- ・ キッチンや洗濯機は使っていない。お風呂は夜 10 時までだった。
- ・ 洗濯は週に一度だった

④キャンパスまでの所要時間

15分<1>、25分<1>、30分<2>、35分<1>、40分<2>、60分<1>
→ 遠すぎた<1>、少し遠かった<4>、適当<4>、近かった<1>

⑤本プログラム以外からの留学生

あり <2> → ロシア、アラブ、デンマーク、韓国、ビルマ
なし <7>

⑥ホームステイ先でのインターネット環境

あり <9> → 自室から可能 <9> → 有料 <0> 無料 <9>
特定の場所から可能 <0>
なし <0>

⑦その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ ホストと沢山会話すると楽しい
- ・ 時々ホストのお客さんが家に来たりしたので、私物を置いて出掛けるのは避けた方が良いでしょう
- ・ 私のホームステイ先は夕食の時にしかあまり会話をしなかった。疲れて寝てしまうことが多かったが、もっと関わりたければ自分から声をかけた方が良いでしょうと思う。
- ・ 日本人に対し好印象を持たれている方が多いので、挨拶や礼儀などを大切にして欲しい
- ・ 門限などもなく非常に自由にさせてもらった。アドバイスとしては、何か要求があれば自分から言う事が大事と思う。
- ・ このプログラムのホームステイ先はどれも良いと聞いたので心配ないと思う
- ・ 言葉が難しくても笑顔とジェスチャーなどを使えば楽しくコミュニケーションを取ることができる
- ・ 交流する方が、英語が上達するので自分から積極的に！

3) 現地の人との交流について

①ホームステイ先以外での現地の人・外国人との交流の機会

あり <6>

内容：

- ・ 語学学校にて
- ・ 語学学校の友達とごはんに行った
- ・ 飲食店にて
- ・ 買い物での店員さんとのやり取りや軽いトーク
- ・ 駅で道を尋ねるなど

なし <2>

②その他コメント、次年度参加者へのアドバイス

- ・ 私達のクラスは日本人が多くあまり外国人との関わりがなかったが、もし居たら遊びに行っても良いと思う
- ・ ホームステイや学校以外の場所では、ネイティブの人が現地のスピードで話しかけてくれるので良い練習になると思う。また、何かあっても英語で対応しなければならぬので、自由時間は単独行動をお勧めする。
- ・ 恥をかいてでも見知らぬ人に英語を使って話しかけ、自分の英語レベルを知りましょう！
- ・ こちらから積極的に誘えば機会はいくらでもある
- ・ 全ての交流の機会を大事にすること

6. プログラム参加前後の変化

1) 英語力

特に向上したと思う技能： Speaking <4> Listening <3> Writing <0> Reading <0>

やや向上したと思う技能： Speaking <4> Listening <4> Writing <0> Reading <1>

あまり向上しなかった技能： Speaking <1> Listening <1> Writing <6> Reading <2>

2) その他コメント

- ・ 2週間では変化はあまり感じないと思うが、自分の弱点がわかる良い機会になった
- ・ たった2週間の留学だったので目覚ましい成長はなかったが、それでも英語に対する躊躇いのようなものは減らせたと思う
- ・ 自分で色々外に出て実戦経験を積みましょう！

7. 費用・持ち物・その他

1) 費用について

①今回のプログラム費以外に現地で使った金額：

日本円 約5万円相当 <2>、 8万円相当 <3>、 10万円相当 <1>、
15万円相当 <1>、 17万円相当 <1>、 20万円相当 <1>

②持参した金額

日本円 約5千円相当 <1>、 7千円相当 <1>、 2万円相当 <2>、
5万円相当 <2>、 10万円相当 <1>、 15万円相当 <1>
→ 十分だった <6> 足りなかった <1>

③お金はどうやって持参しましたか（複数回答可）

日本円現金 <2> クレジットカード <6>
現地通貨現金 <6> 国際キャッシュカード <1>

④お金・両替・現地通貨について

- ・ 時間がないので現地通貨は日本で両替した方がよい
- ・ 9割以上クレジットカードを使えたので、クレジットを持って行けば困ることはないと思う
- ・ 物価が高いため多めに持って行くと良い
- ・ 現金はほとんど使わなかった（5ポンドだけ使用）
- ・ 現地ではクレジットが主流なので現地通貨はあまり必要ない
- ・ イギリスはクレジットカード社会なので現金はほとんど要らないと思う。反対にクレジットカードがないと辛いと思う。
- ・ 両替は簡単にできるが英国はキャッシュレスがかなり進んでいる国なので、現金より現地で使えるカードをお勧めする。逆に現金を持ち過ぎると危険性が高い。
- ・ ほぼクレジットカードで支払いができる。フードマーケットなどは現金支払いが基本なため少し持って行くと良い。

2) 持ち物について

①持って行ったほうが良いもの

- ・ クレジットカード
- ・ SIMカード or ポケット Wi-Fi
- ・ モバイルバッテリー、充電器、変換アダプター
- ・ メモ帳、クリアファイル
- ・ 衣類、マフラー
- ・ 洗面具、タオル

- ・ 風邪薬
- ・ 折り畳み傘（ロンドンでは急に雨が降り出す）

②持って行かなくても良いもの

- ・ 電子辞書
- ・ 現地通貨
- ・ バスタオル
- ・ ヘアドライヤー
- ・ ダウンコート
- ・ 間食のお菓子

3) 治安等、注意すべき点

- ・ スリなどの軽犯罪にはコートを羽織って全て隠すなど常に注意を払っていた
- ・ 今回参加者の中にはスリなどに遭った人はいなかったが、充分警戒することが大事だと思う
- ・ 携帯電話や財布のスリ
- ・ 夜道をできるだけ避けて、財布や携帯電話から目を離さないようにすること
- ・ デモ活動

8. プログラムを総合的にみて

1) 次年度参加者へのアドバイス

- ・ 色んな面でのサポートがあり、基本的に不満という不満はなかったので特に大きな心配は要らない。ただやはり日本のような生活ができるかと言えば勿論そうではないので、事前に様々なことを調べておくことをお勧めする。
- ・ イギリスという文化的かつ歴史のある国に行くため多少の英語は勉強しておいた方が適切である。予定が詰まっているため時間を有効活用すべき。
- ・ わりと自由な時間が多いので前もって予定を立てておくといい。みんなと行動したいなら一緒に計画しても良い。
- ・ 2週間という短い期間だが、自ら学ぶ意識を忘れずに行動すればとても有意義な留学にすることができると思う
- ・ 行く前は2週間の海外は長いと思うかもしれないが、行ってみるとあっという間なので心配要らない。イギリスに行くことと今までの考えが大きく変わると思う。
- ・ 雰囲気の違いや人種の違いを多く経験できる為、良い経験になるし参加して損はないと思う
- ・ ただの語学留学でなく、日系企業・団体の訪問という内容の留学なので、自分のキャリア形成にとっても役立つ留学。自分の将来についてのビジョンを少しでも作っていけば、もっと有意義な留学期間を過ごすことができると思う。また、自分のモチベーションアップにも繋がるので帰国後は少し時間を作って過ごすことをお勧めする。
- ・ このプログラムは一見真剣なゼミのようで、語学と企業訪問を中心としたものだが、実は非常に自由度が高いプログラムである。自分がしっかり準備すれば勉強や体験できることは山ほどある。何より大切なのは、参加することによって自分は何を得たいのかをはっきりさせることだ。些細なことでも構わないので何か一つ興味を持つことがあれば、このプログラムはあなたにとって素晴らしいものになると思う。